

# Handsome

CONTENTS ◆次年度副会長・専務・参与 決定!! ◆特集シリーズ 中央会スペシャル

●3月例会開催 ●鳥取県中小企業青年中央会 臨時総会・ビジネス教育事業開催 ●中海圏域交流会 ●会長連載「Spur」

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 秋里武信 ◆編集責任者/担当 副会長 権田和志 ◆制作・編集 第44期広報委員会/委員長 恵比木 健

## 次年度副会長・専務・参与 決定!!

### 【副会長】



**中村 友紀 会員**  
(平成20年2月入会)  
平成21年度 副委員長 /  
平成30年度 委員長

**奥森 秀夫 会員**  
(平成24年5月入会)  
平成25年度 副委員長 / 平成26年度 県  
出向理事 / 平成27年度 委員長 / 平成  
28年度 副会長 / 平成29年度 専務理事  
/ 平成30年度 県出向監事

**橋本 真和 会員**  
(平成26年5月入会)  
平成29年度 委員長 /  
平成30年度 副会長

**堀尾 一仁 会員**  
(平成26年11月入会)  
平成28年度 副委員長 /  
平成29年度 委員長

**西田 裕志 会員**  
(平成27年3月入会)  
平成28年度 副委員長 / 平  
成29年度 委員長 / 平成  
30年度 副会長

### 【参与】

### 【専務理事】

**恵比木 健 会員**  
(平成28年1月入会)  
平成29年度 副委員長 /  
平成30年度 委員長



**松田 幸紀 会員**  
(平成16年12月入会)  
平成19年度 副委員長 / 平成20年度 委  
員長 / 平成21年度 県出向理事 / 平成24  
年度 副会長 / 平成25年度 副会長 / 平成  
26年度 監事 / 平成27年度 会長 / 平成  
28年度 直前会長 / 平成29年度 参与 /  
平成30年度 監事



**竹ノ内 賢一郎 会員**  
(平成19年8月入会)  
平成21年度 副委員長 / 平成22年度 委  
員長 / 平成23年度 県出向理事 / 平成  
24年度 専務理事 / 平成25年度 県出向  
監事 / 平成26年度 副会長 / 平成27年  
度 監事 / 平成28年度 会長 / 平成29年  
度 直前会長 / 平成30年度 参与



## 3月例会開催!! ~魅力ある職場とは?~

3月15日(金)、米子市福祉保健センターふれあいの里にて政治行政委員会が担当する3月例会が開催された。



秋里会長からは寒の戻りでもあり、体調管理に注意するよう触れられた後、新入会員オリエンテーションの新たな試みであるディスカッションの感想として、新入会員がしっかりとした目標を持って入会されているので、それに応えられるよう会を運営して行きたいと述べられた。

今月の委員長タイムは、総務・45周年記念事業委員会の足立駿委員長。海外と睡眠時間の比較データを紹介した上で、日本国内の睡眠不足による経済損失を15兆円と見積もった。そうした「睡眠負債」を解消する対策として①自分の睡眠を把握する②休日の正しい眠り方③枕とパジャマの3点を提案された。わ



れわれ若手経済人にとってもきっちり仕事するための基本である睡眠を見直す良い機会となった。

本例会では島根電工株式会社代表取締役社長の荒木恭司様をお招きし、「変化に即応する企業」というテーマの下にお話し頂いた。若手ばかりを相手に喋るのは初めてだと断りながらも、われわれ若手経済人のために、自らの体験を基に地方企業をいかに発展させるかという事をとてわかりやすく講演頂いた。



バブルの時の3倍の売上を達成している島根電工。利益を出すために経営するのではなく、経営した結果として利益を出すようにしないといけない。これまで日本の企業では欧米型の経営手法を取り入れて頑張ってきたが、昔の日本型経営、松下電器や本田技研工業などの手法を思い出すべきじゃないのか、そうした持論を述べられた。島根電工では①社員とその家族②関係する会社の社員とその家族③お客様④地域⑤株主の順番で優先するようにしており

「日本で一番大切にしたい会社」の著者である法政大学坂本教授の持論とも一致しているとのことである。

人材確保については、県外からの誘致企業での採用に補助金を使いすぎて、それよりも地元企業をきちんと育ててほしいと意見された。島根電工では世の中で最も埋もれた天然資源である社員の潜在能力を引き出すように、最初に仕事への考え方をしっかり植え付けており、それを怠ると黙って辞めていくという。また入社後の教育ではお兄さん役、お姉さん役をつけて新入社員の不安を取り除いてあげる手法をご紹介された。



地方の厳しい環境にある我々にとって大きなヒントとなった例会であった。

(記事:上村)

## 3月例会を終えて

安達 信彦 (㈱平設計 設計課長)



年度末のお忙しい中、3月例会へ多数の皆様にご参加頂きました事に感謝を申し上げます。「魅力的な職場とは」をテーマに、第一部では「変化に即応する企業」という題目で島根電工株式会社代表取締役社長の荒木氏に講演して頂き、第二部では意見交換会という形式で「魅力ある職場とは」何かを探っていききました。

豊富な経験に基づく多岐にわたる講演内容により、雇用問題だけに留まらず、社員教育・ビジネス展開・働き方改革等、多くの気づきのある例会になったと思います。第二部の意見交換会においても、しっかりと目的意識を持ち、私たちが変わっていく為の道筋が見えてきたと思います。

準備段階から活発な意見交換を行い、それぞれ真剣にテーマと向き合っていた委員会メンバーの皆様、当日も臨機応変に対応しながら例会運営にご尽力頂きまして、たいへんありがとうございました。後半戦も残り3ヶ月となりますが、最後まで一丸となって進んでいけますように、引き続き宜しくお願いします。

## 鳥取県中小企業青年中央会 臨時総会・ビジネス教育事業開催

平成31年3月23日(土)にふれあいの里大会議室にて、臨時総会が行われた。冒頭、濱田県会長より挨拶があり、次年度の県事業がスムーズにスタート出来るようにこの時期に臨時総会を行っているという説明を交え、会長挨拶とされた。議長には、慣例に基づき牧井県直前会長が指名された。選考委員を代表して、濱田県会長より第一号議案として、第45期県会長指名推薦に、東部の



林正太郎氏が選ばれ満場一致で決された。続く第二号議案、第45期県副会長指名推薦では、東部：吉田雅之氏、中部：美甘剛氏、西部：山口尚文氏が選ばれ満場一致で決された。承認を受け、代表して林次年度県会長よりお礼と抱負が述べられ、臨時総会は閉会した。



続いてビジネス教育事業が行われ、冒頭、濱田県会長より「過去2年のこの時期の県の事業は大規模な開催で、今回は小規模と思われるかもしれないが、会員のための事業になると確信している」と述べられた。その後道田県出向理事より事業説明と講師紹介があった。次に「自己分析とモチベーションア



プ」をテーマに人材支援ルーム(㈱)の北沢浩博氏による講演が行われた。心理カウンセラーである北沢氏は、参加会員に対し5項目各10問の自己分析シートを記入すること、その結果自分が実際にどういった傾向にあるのかを説明された。講演は、時折問題や長嶋茂雄伝説な



どを交えた、和やかな雰囲気で行われ、皆時間を忘れるほど熱心に聞き入っていた。最後に担当の秋里県副会長より謝辞があり閉会した。閉会後の北沢氏のSNSには「おかわり(講演リクエスト)を3つ頂きました」とあり大盛況な事業となった。

(記事:赤井)

## 中海圏域交流会

向井 幸紀(㈱鳥取銀行 旗ヶ崎支店 次長)



中海圏域青年経済団体交流会に当会を代表してビジネス経営委員会が参加してまいりました。秋里会長、三輪直前会長、高塚専務理事、山口次年度会長にもご参加いただきました。今回の企画は、蕎麦打ち体験と試食交流会で、3



団体がバラバラに6チームに編成され、蕎麦打ち体験を行い、試食審査するという内容でした。チーム全員で協力しながら、どのチームも真剣に蕎麦打ちを行い、打ち終わったところで、会場を移して懇親会スタートです。懇親会では3団体の会長による、蕎麦の試食審査が行われた後、順位発表がありました。同じ材料を使用して、同じ工程で打った蕎麦ですが、各チームの蕎麦の味は全く違います。ここまで違うのかと皆で盛り上がりました。昨年と同様に今回も小規模での開催となりましたが、その分一人ひとりしっかりと深く交流ができた素晴らしい事業となりました。そして最後は、この交流事業の意義と今後の継続を誓い合いお開きとなりました。

## 「卒会者便り」

平成19年12月に入会させていただき早いもので12年目となります。この12年の中央会生活を一言にするなら【感謝】ですね。



当時、中央会の入会を桶村OBに勧められて個人事業を立ち上げたばかりで会費を払っていきける自信がなく、「一年間事業を続けられたら考えます」とお断りさせていただいてましたが、丁寧に一年後にお声をかけていただき、その頃も会費を払っていきける自信はなかったのですが入会させていただいたのを思い出します。

しかしハンサム原稿「卒会者便り」を書きながら、本当に中央会に入会して良かったなど改めて思います。

残念ながら中央会の例会委員会をそれぞれ1回休んでおりますので皆勤ではないですが、中央会での活動する時間で人との接し方や気遣い会社の運営など大切な事を多く学ばせていただいたと思います。役員も色々させて頂きました。時の会長には迷惑をおかけしたかも知れませんが、肩書により違う角度で中央会に向き合う経験も大変有意義でした。本当に中央会で人生に必要な事を教えていただいたように感じます。感謝です。

会員の皆さん、中央会での活動大変な事も多くあると思いますが、活動を通して必ず学びがあると思います。卒会する時に中央会にお礼が言えるよう、活動をしてもらえたらと思います。

卒会して皆さんに会える機会が減ってさみしくなると思いますのでお付き合いをよろしく願っています。

From 上田康文 (うねだイベント㈱ 代表取締役)



# 中央会スペシャル



File.06

## 『大山お地蔵様フェスティバル』

### 回想録（準備編）

企画構成 武田（リーダー）、堀尾裕、本田、足立鷹、宇佐見

今回の中央会スペシャルは、西部中央会の継続事業として定着してきました「大山・お地蔵様フェスティバル」にスポットを当て、担当された歴代委員長（足立委員長、高井委員長、堀尾委員長）にお集まり頂き、過去3回を振り返り、生みの苦しみと育ての苦しみのそれぞれの立場からお話を伺いました。

## 「何もない所からのスタート、本当に悩みました」

### 第1回担当委員長 足立駿会員

（足立ふとん店米子店 店長）

開口一番、大きな声で話し始めたのが第1回を担当された足立委員長。本当に大変でした。当時の松田会長の強く熱い想いを受け、「よし！やっтарろう！」と始めたものの、何もない所からのスタート。本当に何をすればいいのか、毎日悩み続けました。中央会として中途半端な事業では意味がない。地域の皆様に支えられている西部中央会だからこそ、地域の皆様と一緒に育てる事業をやりたい。来る日も来る日もそんな事を考えながら数ヶ月を過ごしました。少しでも悩みを和らげようと、ふらっと大山寺に立ち寄った際、お地蔵様に手を合わせているご老人の姿が目飛び込んできました。これだ！！ピンと来ましたね！私たちの身近にはこんなにも人を包み込んでくれる大山、そしてお地蔵様がある。是非、この大山・お地蔵様に着目した事業をやろう！そうと

決まれば、委員会メンバーや地域の皆様の協力もあり早かったですね。もちろん大変な事も多々ありましたが、さすが中央会！度重なる問題も淡々と解決し、なんとか企画を形にする事ができました。

一通りの準備を済ませ、フェスティバル前日を迎えました。これで準備万全。明日は雨の予報も無い。絶対成功させてやると心に思い、当日のシミュレーションを繰り返し行っていた夕刻、「んっ。なんか風が強いなー」とは感じていましたが・・・（次号へ続く）



## 「プレッシャーは半端ない。失敗できないな」

### 第2回担当委員長 高井賢一会員

（南松友 統括マネージャー）



「お地蔵様フェスティバル」としても基本コンセプトは外せない。でも自分なりの色も出したい。プレッシャーが半端なかったですね。そう語るのには第2回を担当された高井委員長。

なにか新たな企画をやりたい。何が良いだろうか・・・。大山と言えば蕎麦。そうだ！流し蕎麦をやろう！どうせやるなら本物の竹を使いたい。多くの人に地元の蕎麦を味わってほしい。そんな思いから始めたのですが、これが大変でした。まずは竹の伐採、竹割り、節削り、消毒と・・・。数多くの工程を重ねてやっと蕎麦を流す道が出来ました。

現地に行つての設置。斜面の上に設置する訳ですからなかなか固定されません。どうしよう・・・そんな中、「まかせてや！」との声。さすが中央会。本職が出てきました。あれよあれよと番線で括りしっかりと固定。完璧です。

準備期間中は毎週の様大山に上がり、関係各所との連絡、危険箇所の確認を繰り返し行いました。何か形になる物を残したいとも思っていたところ、OBからアドバイスも頂き、石碑を寄贈する事にしました。大山の森林の中に置かれた石碑。素敵です。まさに、西部中央会の魂が大山に根を下ろした瞬間でした。

当日の天気予報は晴天。雨の心配はまったくありません。あとは計画した内容を行うのみ。期待と不安が入り乱れる中、そっと目を閉じ、翌朝を迎えました。（次号へ続く）

## 「とにかく地域に広めたい」

### 第3回担当委員長 堀尾一仁会員

（株堀尾建築設計事務所 専務取締役）

第3回目を担当した堀尾委員長が、目を細め、お地蔵様の様な優しい笑顔で語り始めました。今回で3回目。とにかく地域に広めたい。その思いが強かったですね。その年はちょうど大山開山1300年祭で盛り上がり、一緒にPR出来れば良いとも思っていました。とにかくPR活動は大変でした。一番印象に残っているのがラジオ番組への出演です。朝起きて、電話が掛かってくるまで自宅で待機です。なんせ電話です。一人での出演です。なんとも言えない感じでしたね。PRの方はしっかりとさせて頂きましたが貴重な経験でした。

何回も遅い時間まで委員会を重ね、ある時の懇親会場で委員会メンバーから、「着ぐるみを作ってみたら」との意見がでました。良いじゃないですか。早速着ぐるみのデザインに着手しました。デザイン案を何個か作成し、会員に意見を聞きながら段々と形になっていきます。最初の着ぐるみにはなんと四次元ポケットがあったのです。最終的には無くなりましたけど・・・。マントをつけたらど



うだ！中央会のマークをつけたらどうだ！会員の皆様からの多くの意見を頂き、完成したのがご存知「にこっとさま」です。

着々と準備を済ませ前日を迎えました。その時点で空は曇り。まだ雨は降っていませんでしたがフェスティバル当日の天気は、昼過ぎから雨の予報。来場者の皆様に冷たい雨で濡らせる訳には行きません。前日の段階には短縮版でやろうと決め、準備に取り掛かりました。

遅くまで準備を進め、ようやく浅い眠りについた時、ふと、窓の外から雨の音が聞こえました。「夢でありますように」と思いながら目を開けると、雨です。何故！！雨が降るのは昼からじゃなかったのか！そこからが大変です。短縮版の予定で進めていた準備を夜明け前になって、急遽、雨天バージョンに変更です。（次号へ続く）

今回は大山・お地蔵様フェスティバル準備編としてご紹介させて頂きました。次号は「当日編」と題して、波乱に満ちたフェスティバル当日のお話をご紹介します。長い時間を費やし準備を進めてきた歴代委員長。いよいよフェスティバル当日を迎えました。生みと育ての苦しみから波乱を乗り越え達成感へ！乞うご期待！（記事：武田）

会長連載

# Spur ~シュプール~

第44期 会長 秋里武信

# 軌跡

先輩と話をしている時、突然『なんで、お前はいつもそうなんだ!』と怒られたことがあります。その原因は、無意識に使っていた『いや、〇〇…』『でも、〇〇…』といった言葉でした。口癖のように使っていたので、怒られた時は何について怒られているのかすら気づけなかったのですが、その後、先輩はこう教えてくださいました。

『中央会に入会して、お前はこれから色々な先輩達との出会いがある。お前以上に経験を積まれた先輩ばかりだ。その先輩からのアドバイスを、経験の浅いお前が否定しちゃダメだ。まずは“はい”って受け取るんだよ。それが、話をしてくださった先輩に対する礼儀ってもんだ。“いや”“でも”ってお前の考えは、その後だわい…』

私は、この先輩の一言で、中央会に学びに来ているのだと再認識しました。“成長したい”“学びたい”と思って入会したのに、耳を塞いでちゃダメですよ…。

## 四十の手習い ~貪欲に学ぶ~

福本 隆史 (河崎植木園 副代表)



皆様、お世話になります。河崎植木園の福本隆史です。中央会には7年在籍させて頂いております。最近よくゴルフをしており、年々ラウンドの回数が増え、練習にもよく行っています。なかなか上達はしませんが、少しでもドライバーの飛距離を伸ばしたいと思い、新しいドライバーを買いました。飛距離アップの為にスイングフォームを変えて以来スコアが悪くなり、最近やっと戻りつつある中での購入となりました。しかし私の考えは間違っていました。新しいドライバーを買

ましたが、飛距離が落ちました。やはり道具ではない事に気づき落胆しただけの購入となってしまいましたが、いい勉強になりました。これからは飛距離を問わず結果にこだわりしっかりとフォームを身につけるよう精進していこうと思います。以上、今後とも福本を宜しくお願い致します。

## お誕生おめでとう



**安藤 大和くん**  
安藤睦男会員  
(山陰フェンス衛)

平成31年2月2日のAM7:19に3,236gの元気な男の子が誕生しました。

名前は大和(やまと)と名付けました。今回は3人目の出産でしたが、初めての男の子で2人のお姉ちゃん達もとても可愛がっています。3人仲良くすくすく育てほしいです。

## 「卒会者便り」

2001年2月に入会、あっ!と言う間に18年、中央会も仕事もこんなに続くとは思いませんでした。



苦しいこと、辛いこと、楽しいこと沢山ありました。18年間を思いかえすとキリが無いですが、先輩会員に誘われ、ろくに説明も聞かず、言われるがまま目的もなく入会したので(させられた?)役員会で入会動機を聞かれたとき、とても困ったのを覚えています。辞退しますと言いそうになりましたが、紹介者の方に迷惑がかかると思ひ踏みとどまりました。ここで大人の階段を一步登ったような気がします。なんて答えたのかは、覚えていません。

波風立てず、目立たずに中央会生活を送ろうと思っていましたが、なにもしなくても怒られ、何かしても怒られる、そんな事が嫌になり最初幽霊会員になってしまいました。ですが当時の副委員長に誘われ、プライベートで会員と飲みに行くようになり、友達が出来、委員会、例会にも出席するようになりました。

どうせ怒られるなら、やりたい事をやろう、素の自分を出そう、そうしたら中央会活動も楽しくなりました。目立たずにいようと言う思惑は、失敗しました。県出向をさせてもらったおかげで県でも目立てたかなと思います。

あのとき紹介者に出会わなければ、副委員長に出会わなければ18年の思い出はなかったと思います。のこり数か月は、目立たず、ひっそりと過ごしたいと思います。

最後に後輩たちに

「若さとは、振り向かないこと、あきらめないこと。

愛とは、ためらわないこと、くやまないこと。」 以上

From 内田和也 (南内田重機 代表取締役)

## 4月役員会報告

平成31年4月1日(月) 米子市公会堂集会室5にて4月役員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

- ・3月例会開催の件
- ・4月例会開催の件
- ・お地藏さまプロジェクトの件

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

## 所属企業変更等のお知らせ

### 「所属企業名称変更のお知らせ」

山口 早苗 会員  
(旧)三井生命保険株式会社  
(新)大樹生命保険株式会社

一原 亮介 会員  
(旧)三井生命保険株式会社  
(新)大樹生命保険株式会社

### 「事業所移転のお知らせ」

足立 鷹大 会員  
株式会社八百屋トマト  
〒683-0805 米子市西福原5丁目3-35

お手数ですが会員手帳の修正をお願いします。

## 編集後記

入会して半年の私は、継続事業のトライアスロン、お地藏様フェスティバルともに未経験ですが、「中央会スペシャル」により、歴史や皆様の熱い想いを知ることができ、体験したときに自分がどう感じるか楽しみになってきました。この特集、最後まで目が離せません!

(広報委員会 宇佐見啓輔)